

はまゆう

第101号

信愛会
理 念
愛・信頼・貢献

土肥ホームと
戸田デイサービスの
サービスご利用者を
対象とした

このまちで、ずっと暮らすために

地域貢献事業

くらし継続支援サービス創設

住み慣れた土肥地区・戸田地区で、安心して暮らし続けるために。
介護保険サービスや既存の地域サービスだけでは対応しきれない、
日常の「ちょっと困った」を支える生活支援サービスです。

くらし支援サービス 1時間2500円～

職員派遣により、介護保険では対応できない生活の
お困りごとを支援

* 支援内容は要相談



オムツ販売・お届け

施設で使用実績のある信頼性の高いオムツを安価販売
経済的にも、継続購入の精神的な負担の支援



オリジナル弁当配達 1食750円

夕食のお弁当（使い捨て容器・味噌汁付き）を配達
食の確保と生活の安定を支援



介護の現場でも使用している各種
オムツを取り揃えています。

食の確保のため、夕食のお弁当を
ご自宅まで配達しています。



くらし支援サービスによって派遣された
職員が強風によって壊れてしまった自宅
の窓ガラスの応急処置を施しました。



くらし支援サービスによって派遣され
た職員が行政窓口へ出掛ける際の送迎
支援を行いました。

介護保険だけでは支えきれない暮らしに…
地域に根ざした補完的支援で、その隙間を埋めます

暮らしの継続を応援する・・・

それが私たちの使命です

暮らし継続支援サービス
キャラクター

くらっしー



土肥ホームトピックス

互助会



互助会の活動では、職員間の親睦と地域交流を兼ねて地元の小土肥海岸の清掃活動と地域づくり協議会が主催する農園で地域の方々と一緒に作業を行いました。

土肥ホーム



◀ 民生児童委員の方々が清掃ボランティアとして訪れてくれました。

▶ 納涼祭では一緒に射的をしたり風車のプレゼントに思わず笑顔がこぼれました。

土肥ホーム



土肥ホーム



◀ 施設の庭先でささやかながら花火大会を開催。色鮮やかな噴出花火を皆さんと一緒に鑑賞しました。

土肥デイサービス



▲ アクティビティーとして脳トレと手指のリハビリを兼ねたちぎり絵や貼り絵をおこなっており、毎月、世界に一つだけのカレンダーが出来上がっています。

戸田デイサービス



▶ 戸田小中一貫校9年生の皆さんとの交流会では、生徒の皆さんが準備してくれたゲームやクイズを楽しんだり、「南中ソーラン」を披露してくれました。

菜の花ホーム



◀ 初夏の陽気に誘われて、最近リニューアルされた土肥金山まで出掛けてきました。

▶ 納涼祭では金魚すくい、手作りあんみつを食べながら、笑顔あふれる楽しい時間になりました。

戸田デイサービス



令和7年度 事業報告・決算報告

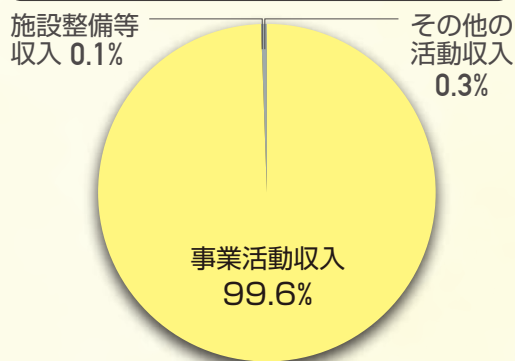


土肥ホーム・戸田デイサービスセンター
施設長 福室 悦子

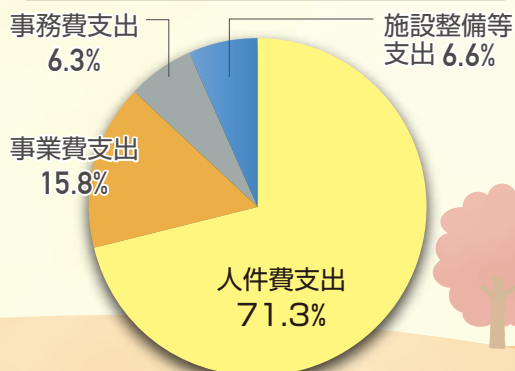
令和7年度の事業展開として、重点的な活動では介護人材確保の視点から計画的な外国人雇用と育成に着手してきたが、生活する環境の不便さから外国人介護職の離職があり、仕事だけでなく私生活の充実がいかに重要であるかを痛感した。また指導職層の育成について組織運営の核となる次世代を担うリーダーシップを養う人材教育も強化した。入所ベッド稼働では嘱託医の協力と指示のもと、入院せずに施設内で療養する対応が増え、明らかな空床ベッドの減少に繋がって安定した入所稼働であった。介護DXの定着化と汎用性を高めた取り組みとしては内部的な運用に留まらず、関係機関との広域的な運用をめざしたが、ネット環境問題やICTの未定着、馴染みが薄い新

たな仕組みに躊躇するなど活用に制限が生じた。リスクマネジメント強化では外国人介護職の増加により、業務マニユアルの再確認と徹底を行った。施設整備ではデイルーム内装改修工事を行い、利用者の環境改善に繋がりを、利用者満足度に繋がった。
今後、計画する老朽化設備に関し、中長期的な事業継続を見据えた改修計画の実行に着手していく予定だが、それに伴う資金確保として計画的な資金調達と内部留保の確保に向けて経営の安定化を図っていく。災害対策では実践的な災害に関する行動計画と既存の事業継続計画が起りうる災害に対し、実態や災害時の運営に合致した計画内容であるか検証していく。

令和7年度 土肥ホーム事業収入



令和7年度 土肥ホーム事業支出



土肥・戸田 ホームページ

ホームページでは日常の様子や出来事、様々な取り組み等も公開中。是非、ご覧下さい。



公式アカウントが更新されました



公式アカウント名

@TOKUYOU_TOI



Follow me♪

編集後記

猛暑や豪雨、地震といった自然災害が目立ったR8年の夏も終わり、少しずつ秋の気配が近づくなか、新たなスタートとなる101号を発行することができました。今号では本誌同様、新たにスタートした「くらし継続支援サービス」を掲載しました。住み慣れた土肥・戸田地区で安心して暮らし続けられるよう、当施設がその一助となれば幸いです。今後も施設の様々な取り組みや日常の様子といった「施設の今」とともに、たくさんの笑顔をお届けしていきます。（広報誌委員会 植松）

Myint Zu Khaing (ミンズカイン)さん



はじめまして、名前は「ミンズカイン」と申します。「ミンズ」とよんでください。

日本へ行くために、日本語をもっと勉強しています。皆さまは体に気をつけて、毎日楽しく過ごしてください。これからよろしくお願いします。

May Thit Khaing (メイティツカイン)さん

わたしのなまえは「メイティツカイン」ともうします。「カイン」とよんでください。

わたしはかいごの仕事をするために、いま日本語をもっとがんばってべんきょうしています。みなさまお元気で、わたしを待っていてください。どうぞよろしく願いいたします。



9月に入職予定です。皆さん、よろしくお願いします。

ミャンマーからようこそ



発行：社会福祉法人信愛会
土肥ホーム
住所：〒410-3301 静岡県伊豆市小土肥787-2
電話：0558-98-2900
発行者：福室悦子

戸田デイサービスセンター
住所：〒410-3402 静岡県沼津市戸田1575-1
電話：0558-94-5550

